

<福岡アートアワード>を創設します！

福岡市美術館では、Fukuoka Art Nextの事業の一環として、**<福岡アートアワード>**を創設し、**福岡で活躍し、飛躍が期待できるアーティストに、贈賞します。**

1 趣旨

福岡市内で目覚ましい活動をおこない、今後も飛躍が期待できるアーティスト（美術作家）を対象に、作品の買い上げをもって贈賞します。贈賞により作家を支援し、買い上げ作品は、福岡市美術館の所蔵品として、展示活用されます。これにより、福岡市に美術作家が集まり、質の高い作品の展示や市民がアートに親しむ機会が増え、福岡市が彩りにあふれたアートのまちとなることを目指します。

2 賞の種類

- ◆市長賞 1名
- ◆優秀賞 2-5名程度

3 募集内容

■対象アーティスト

(1)過去1年間（2021年11月から2022年10月）の間に、福岡市内で、展覧会、アートフェアなどへの出品、レジデンス、アート・プロジェクトの実施など、1つ以上の活動をおこなったもの（公開・発表をともなわない制作活動は含みません。）

(2)過去5年以内に制作した、福岡市美術館が買い上げ可能な作品を有するもの

■募集方法

自薦および他薦による

■募集受付期間

2022年9月15日(木)から10月31日(月)まで

4 選考と発表

現代美術の分野に通じた有識者3名（別紙）により、選考を行います。受賞者、買上作品は、2023年3月中旬に発表予定です。

5 応募方法

■応募要項・申請書類

9月1日より下記専用ページからダウンロードできます。

選考委員など本アワードの詳細も、同ページに掲載いたします。

Fukuoka Art Nextウェブサイト (<https://fukuoka-art-next.jp/>) 内
<福岡アートアワード>ページ

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：山木、岩永

TEL：714-6054 FAX：714-6145 e-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp

<福岡アートアワード> 選考委員

みずさわ つとむ

■水沢 勉 (神奈川県立近代美術館 館長)

1952年横浜市生まれ。1978年慶應義塾大学大学院修士課程修了後、神奈川県立近代美術館学芸員として勤務。2011年より現職。主な企画展に「萬鉄五郎展」(1985)、「エゴン・シーレとウィーンの世紀末」(1986)、「オットー・ディックス」(1987)、「芸術の危機」(1995)、「アントニー・ゴームリー」(1996)、「世界図鑑」(2007)、「エル・アナツイ」(2011)など。サンパウロ・ビエンナーレ 日本コミッショナー(2004)、第3回横浜トリエンナーレ アーティスティック・ディレクター(2008)など。

うえまつ ゆか

■植松 由佳 (国立国際美術館 学芸課長)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、財団法人ミモカ美術振興財団勤務を経て、2008年より国立国際美術館に勤務、2021年より現職。現代美術を中心に国内外で展覧会を企画。近年の主なものに「They Do Not Understand Each Other」(2021、共同企画、香港Tai Kwun Contemporary)、「ヤン・ヴォーオヴ・ンヤ」(2020)、「国立国際美術館開館40周年記念:トラベラーまだ見ぬ地を踏むために」(2018、共同企画)(いずれも国立国際美術館)など。第54回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館コミッショナー(2011、作家:束芋)、第13回バンガラデシュ・ビエンナーレ日本参加コミッショナー(2008)を務めた。文化庁アートプラットフォーム事業・日本現代アート委員会副座長。

ほりかわ りさ

■堀川 理沙 (ナショナル・ギャラリー・シンガポール、キュレートリアル&コレクションズ ディレクター)

1978年米国ミシガン州生まれ。九州大学大学院修士課程修了。専門はアジア近現代美術史。2002~2003年まで中国ロング・マーチ・プロジェクトに関わる。2003-2012年福岡アジア美術館、2012年よりナショナル・ギャラリー・シンガポールに勤務し、2021年より現職。主な企画展に同館での「Between Declarations and Dreams: Art of Southeast Asia since the 19th Century」(2015)、「Reframing Modernism: Painting from Southeast Asia, Europe and Beyond」(2016)、「(Re)Collect: The Making of Our Art Collection」(2018)など。